平成25年度貝毒プランクトン出現状況(No.6)

通報番号 (MG) - (25) - (13) 通報月日 平成25年5月13日 機 関 名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深	水温	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備考
		(m)	$(^{\circ}\mathbb{C})$		D. fortii	D. acuminata	他 Dinophysis 属	Alexandrium spp.	(他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
荻浜内湾	5/13	0	10.5	33.13	0	30	0	30	
		5	9.5	33.21	10	120	10	60	D. infundibulus:10
		10	8.7	33.40	0	20	0	20	
荻浜沖合	5/13	0	11.2	32.97	40	110	10	20	D. rotundata:10
		5	10.6	33.09	30	260	20	60	D. infundibulus:20
		10	9.6	33.22	30	160	30	20	D. infundibulus:20, D. norvegica:10
		15	8.4	33.46	0	50	0	20	
塚浜	5/13	0	9.9	30.45	0	0	10	0	D. infundibulus:10
		5	10.0	31.82	0	0	0	0	
		10	7.9	33.31	0	0	0	10	
		15	7.2	33.39	0	0	0	0	
		20	7.2	33.46	0	0	0	0	
		B-1	7.1	33.47	0	0	0	0	

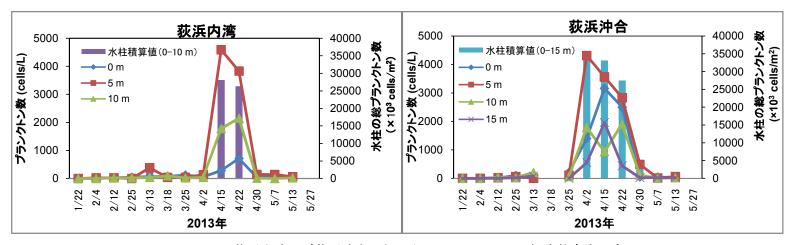
※B-1は27 m

- ・下痢性貝毒プランクトンのD. fortiiは、荻浜内湾及び沖合で見られ、沖合では前回調査(5月7日)時より増加しました。また、D. acuminataは、 荻浜内湾及び沖合で見られ、前回調査(5月7日)時と同程度の細胞数で推移しています。
- ・麻痺性貝毒プランクトンであるAlexandrium spp. は、全ての調査点で見られ、荻浜では前回の調査(5月7日)と比較し、減少しています。
- ・荻浜の表面水温は, 前回の調査(5月7日)時より, 内湾で1.1℃下降し, 沖合で0.1℃上昇しました。また, 塚浜の表面水温は, 前回の調査(5月7日)時より 1.6℃上昇しました。

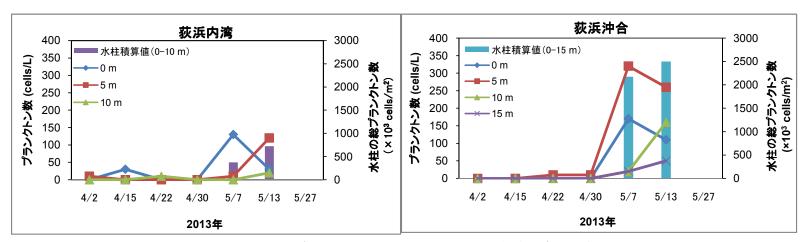
※次回調査は、5月27日を予定しています。

担当:環境資源部 増田・太田

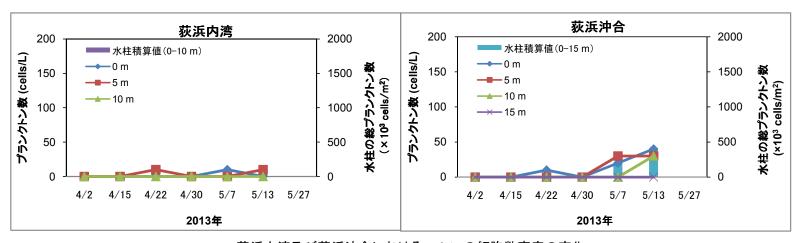
TEL:0225-24-0139,FAX:0225-97-3444



Figs. 1 荻浜内湾及び荻浜沖合におけるAlexandrium spp.の細胞数密度の変化



Figs. 2 荻浜内湾及び荻浜沖合におけるD. acuminataの細胞数密度の変化



Figs. 3 荻浜内湾及び荻浜沖合におけるD. foltiiの細胞数密度の変化